

ビジネスパワーポイント実践講座 第8回「スライドマスター」補足資料

上級実技練習問題 1 の問題 1 (3)、問題 2 (1) の解答手順は以下の通りです。

問題 1 (3)

①視差 スライド マスター : スライド 1-10 で使用される

<マスタータイトルの書式設定>

1. [表示] タブをクリックし、[スライド マスター表示] ボタンをクリックしてスライド マスターを表示する。
2. 画面左側の領域から、一番上のスライドマスター「視差 スライド マスター : スライド 1-10 で使用される」を選択する。
3. 画面右側スライドペインで [マスタータイトルの書式設定] プレースホルダーを選択し、[ホーム] タブの [フォント] グループで、「フォント : HGS ゴシック M」、「フォントサイズ : 54pt」に設定する。
4. [描画ツール] の [書式] タブをクリックし、[ワードアートのスタイル] [その他] をクリックして、「塗りつぶし-黒、文字 1、輪郭-背景 1、影 (ぼかしなし) -背景 1」(3行 1列目) をクリックする。
5. [ホーム] タブの [段落] グループで「左揃え」ボタンをクリックする。

②2つのコンテンツ レイアウト : スライド 8-10 で使用される

※①に引き続き、スライドマスターの編集を行う。

<マスタータイトルの書式設定>

1. 画面左側の領域から、「2つのコンテンツ レイアウト : スライド 8-10 で使用される」を選択する。
2. 画面右側のスライドペインで、[マスタータイトルの書式設定] プレースホルダーを選択し、[描画ツール] の [書式] タブの [図形のスタイル] - [その他] で「パステル-青、アクセント 1」をクリックする。
3. 続けて、[図形のスタイル] グループの [図形の効果] ボタンをクリックし、[ぼかし] の「25ポイント」をクリックする。

<右のマスターテキストの書式設定>

1. 右側の [コンテンツのプレースホルダー] の外枠をクリックし、[ホーム] タブで「フォントサイズ : 24pt」に設定する。
2. [箇条書き] ボタンの横の▼をクリックし、表示されたメニューの最下部で [箇条書きと段落番号...] をクリックして [箇条書きと段落番号] ダイアログボックスを表示する。「塗りつぶしひし形の行頭文字」をクリックして選択し、「サイズ : 80%」に設定し、[OK] ボタンをクリックする。

3. [ホーム] タブの [段落] グループで [ダイアログ ボックス起動ツール] ボタンをクリックして、[段落] ダイアログボックスを表示し、「配置 : 両端揃え」、「段落後 : 16pt」に設定して [OK] ボタンをクリックする。

<スライド マスター表示の終了>

1. ステータスバーの [標準] ボタンをクリックしてスライドの表示に戻す。

【解答後の確認】

スライド 8 から 10 のスライドの「タイトル用のプレースホルダー」のスタイルとぼかしが変更されていることを確認。

問題 2 (1)

(1) タイトル用のプレースホルダーに、以下のテキストをすべて全角で入力しなさい。

1. スライド 1 の「タイトル用のプレースホルダー（「タイトルを入力」と表示されているプレースホルダー）」に、「システム提案書」と入力する。
2. スライド 2 の「タイトル用のプレースホルダー」に、「■目次」と入力する。

※以下スライド 10 まで同様の入力操作を行う。

【解答後の確認】

すべてのスライドについて、入力したタイトルの書式が「フォント : HGS ゴシック M」、「フォントサイズ : 54pt」に設定されていることを確認。